

## 環境農業新聞購読方法

年3,000円

毎月15日発行

FAX、メールでお申し込み下さい。

郵便振替口座 00150-2-290578

## 環境農業新聞

メール:ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp

2020年(令和2年)

2月15日(土)

第216号

毎月15日発行

平成13年4月17日

第三種郵便物認可

発行所 環境農業新聞社

編集発行人 成瀬一夫

東京都葛飾区東金町1-41-9

〒125-0041 フランス堂ビル3階

電話 03-3826-5212

FAX 03-3826-5217

年間購読料 3,000円(税・送料込)

郵便振替口座 00150-2-290578

## 基本は免疫力を上げること

日本豊受自然農の由井代表

インド ホメオパシーを推奨  
政府も 23日 講演ツアーで対策を講演

中国・武漢市に端を発し、全世界で感染者、死亡者の報告数が急増している新型コロナウイルス感染症。中国の感染者は公式発表でも6万人を超え、死亡者も2000人を超えた。そうした中、インド政府は新型コロナウイルスに対応するためホメオパシーを推奨すると発表。ホメオパシーは、過去、コレラ、チフス、スペイン風邪など大きな伝染病の流行でも多くの方を救ってきた歴史があり、2007年には、キューバでは国を挙げて熱帯病レプトスピラ症の感染防止を行い大きな成果を上げ、現在では世界で10数億人が利用する伝統医学となっている。また日本豊受自然農の由井代表は、レメディ、ハーブマサージ、クチャを選出し、流行に備え、レメディ、マサージ、クチャを選出し、新型コロナウイルス対策コンプレックスを発表した。

安倍総理は日本で新型コロナウイルスが初めて死亡したことを、検査態勢と感染者の増加、治療態勢の充実を一層加



由井貞子代表

速さで述べた。今回の「新型コロナウイルス」の感染症に恐怖を持ち、マスクが売れ切れ状況になり、人込みや満員電車を選ばないなど色んなことが話題に上っている。免疫力が低下している高齢者が危ない」というワイドショーで取り上げられると口うるさく騒ぎ立てる人も出るからだ。

潜伏期間中の感染者から感染するという。

## 新商品豊菌グルト

由井代表は、対策の基本は免疫力を上げる事。免疫に関わるハーブ、エキネシア、ホーリ、バジル、カレンデュラなどの発酵酵素や、それらのハーブ発酵酵素の生産、免疫の要となる腸を対策する味噌、醤油、玄米甘酒や腸内細菌を整えること云々の新商品の豊菌グルトなど、豊受の農産物からの発酵食品を通じて、国民の免疫力のアップに、日本豊受自然農としても貢献していくことを表明。

## ウイルスの症状

新型コロナウイルスの症状は、飛沫、接触感染により発症する発熱や咳、息苦しさや、呼吸困難などの呼吸器の症状、また重症化すると、肺炎

## 自己治療力を触発

日本豊受自然農の由井代表は「レメディは全て高度に希釈振盪されており、原物質を含みません(原物質情報だけ含みます)。この「気」のようになったレメディの情報が、自己治療力

を引き超したり、腎臓の機能が低下したりして、ゆくゆくは多臓器不全を引き起こしていくと警告されている。また、初期症状として、下痢、吐き気などの消化器系からの出血、頭痛など、また、一部のケースでは動悸、胸の圧迫感などが確認されていると言われている。

## 和歌山から開始

また、由井代表は日本ホメオパシー医学協会名誉会長は2月23日から和歌山市から始める全国講演ツアー(名古屋、大阪、福岡、沖縄、東京、島原、熊本、札幌、新潟)で、ホメオパシーでのパンデミック対策、新型コロナウイルス感染症も含めてホメオパシーでの総合的な健康対策を講演していく予定。

## パンデミック対策

実際のホメオパシーでの感染症へのパンデミック対策については、『それでもあなたは新型コロナウイルスエンザウクチン打ちますか』由井代表著。スペイン風邪流行の際には、アメリカのデータですが、アロパシー(現代医学)では2万4千人に

## 小石川後楽園を世界遺産に

## 梅をこよなく愛した光圀

NPO法人小石川後楽園庭園保存会

副理事長

本多忠夫

「小石川後楽園を世界遺産に」と題して庭園を解説する本稿は多くの人に好評を博している。筆者はNPO法人小石川後楽園庭園保存会の本多忠夫副理事長。

小町塚を過ぎるといよいよ山の空間とお別れになります。少しばかり東方向に進むと、園路は二方向に分かれます。一つは北東側に進んで東の平地にゆくり降りていくコースで、他の一つは南側から平地に直に降りていくコースです。ど

河原書院に到達するコースを選んでいきます。しかし、現在、河原書院は跡形もなく梅林となっており、急いでそちらを先に回る必要もないので、南側のコースに向かい平地に降りていくコースを選んで見ました。

降り立った平坦地の南側は杜若の植えられた湿地帯とその東側に藤棚が見えます。降りてきた築山は愛宕山ですが、この愛宕山を背に右側、即ち西側に少し歩き、南側の杜若田を見ますと木造の板のようなものが8枚ばか

りジグザクに対岸まで架けられています。これを八ッ橋と言います。今にも流れさそうな儚い橋です。天に向かって剣状に突っ立って咲く杜若を縫うように水平の木の橋が架けられている景観はいかにも日本的な絵画を見ているような何とも

た池鯉鮒という地名でした。ではどうしてこの地を八ッ橋と言ったのかについて見ていきます。この土地の川の流れが雲の手のように幾筋にも別れており木橋が八つ架け渡してあったことからこの土地を八橋というようになったそうです。この地の杜若が世に知れるようになったのは平安時代にさかのぼります。平安時代の六歌仙の一人として数えられる在原業平(825年〜880年)は伊勢物語の中で京から東の国を目指して下る途中、この

八橋(池鯉鮒)に寄って、杜若の美しさに、かきつばたの文字を各句頭に置いて詠んだ有名な詠にちなんで、日本庭園の添景としてこの八橋を用いられたようになったこととです。その句とは「からこも きつくなれにし つましあれば はるばるきぬる たびをしぞもつ」

その意は「唐衣をすつと着ていると身になじんでくるが、ちよとそのように慣れ親しんできた妻を京に残して、一人旅するのには思はず遠くまで来てしまひ、なんともやせなさいことであらう」というものである。

この八橋の景を見て、更に西側に歩み寄ると築山方向に、先に見てきた愛宕坂を見上げることが出来ます。以前萱門跡を通り過ぎて南側に下った地点です。従ってそのとき、また来た園路を上らず、そのまま東に歩みを進めると八ッ橋に至ることになります。その地点の南側にはこれも先に触れましたが神田上水跡が西から東へと流れています。その神田上水の南

## 猛威を振るう新型コロナウイルスに対応

を触発して、自ら要らないものを外に出して、健康になるというホメオパシーの原理であり、排泄を病氣と恐れることなく、日々の情報に感化されず、体も心も魂も健康でありますように願っています」と語っている。